

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103755
法人名	有限会社 三光資産
事業所名	グループホームさんこう
所在地	松山市南土居町131-1
自己評価作成日	平成25年9月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年9月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりの性格や生活リズムを尊重し、利用者様が安心してのびのび生活できることを目標に、一人ひとりの希望や訴えを把握し、利用者の立場に立った支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用契約時には、ご家族や利用者へ「医療連携の指針」に基づいて「看取りの意味」を含めて説明されている。医療連携を図っている医師から、看取り支援について「一緒にがんばってみないか」と言っていたことがきっかけで、この一年の間に2名の利用者の方の看取り支援に取り組みました。その際、毎日、訪問看護ステーションから看護師が訪問してくれて、利用者の「今の状態」を職員に詳しく説明してくれて、職員はとても心強かったようだ。
職員個々に、利用者の希望を反映した献立を一週間分ずつ作成して持ち寄り、栄養士の資格を持つ職員を中心に話し合い、決めるようになっている。管理者は、利用者へ「新鮮な旬の食材を味わってもらいたい」という思いから、野菜は毎日配達してもらっている。又、魚は、商店から骨を抜く等加工されたものを届けてもらっている。さらに、お米は農家から直接購入されている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームさんこう

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 村上 健太郎

評価完了日 平成25年9月1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 職員で話し合い、利用者の自由で尊厳のある暮らしを支援 する為の理念を作り実践している。また日々の仕事やミー ティング時、理念に立ち戻り話し合いを行っている。	
			(外部評価) 事業所では「尊厳ある自由なかかわりのある暮らし」と理念を つくり、居間に掲示しておられる。管理者は、理念にもとづ き、新人職員には、例えば「あいさつをする」、利用者の「血 液型や出身地を覚える」等、一日ひとつの課題を持って利 用者とかかわることに取り組めるよう、話をされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 夏祭りや秋祭り等に利用者と共に参加している。散歩の際も 職員自ら地域の方々へ声をかけ、利用者地域の方々との 会話を促している。	
			(外部評価) 近くの公園で行われる地域の夏祭りには、毎年、町内会長 が利用者の座席を準備してくださっており、利用者は盆踊り 等を見学して楽しんでいる。又、中学校の職場体験を受け 入れておられ、今年は3名の生徒が来られて、利用者で散歩 したり一緒に食事して過ごし、介護の体験をされた。事業所 が所在する地域には高齢者が多く、時には、認知症につい て相談に来られたり事業所に空室はないかと聞きに来られる こともある。事業所では、地域包括支援センターにつなげたり、 一緒にホームの空室を探す等して支援されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 町内会への参加を行い、見学に来られた際等の相談対応も 出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 実際に施設内を見て頂いたり、避難訓練に参加して頂いている。そして取り組み状況等の報告を行い意見の交換も出来ており、それらを日々活かしている。</p> <p>(外部評価) 会議時には、外部評価結果をもとに目標達成の取り組みについて話し合われたり、外部から講師を招いて「接遇」について勉強する機会等も作られている。事業所では、年間の会議開催日を予め決めておられるが、現在は、開催が遅れがちになっている。会議メンバーへの案内は、10日前くらいに行なっておられ、市の担当者や町内会長等に参加いただくことが難しいこともあるようだ。ご家族の会議参加については、利用契約時に説明とお願いをしておられ、参加していただけそうなご家族に案内をされるが、参加につながり難いようだ。</p>	<p>おおむね2ヶ月に1回の会議開催に向けて、メンバーの希望や意見等をうかがいながら、年間計画を立ててはどうだろうか。会議の目的でもある「地域に開かれた事業所」への取り組みに向けて、地域の方やご家族等、いろいろな方が参加しやすい会議のあり方等について、今後さらに工夫を重ねていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 様々な機関(松山市、町内会、地域包括センター等)と連携し情報収集を行っている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者からは、「寒暖差での体調変化」「食中毒・熱中症への注意」等についてのアドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 施錠や拘束をせず声かけや見守りを徹底して行い、利用者に危険が無いように支援をしている。</p> <p>(外部評価) 各ユニットの入り口は、ドアを開けるとチャイムが鳴るようになっている。利用者がベッドから降りる時、転倒の心配がある利用者の方については、職員が15～20分おきに様子を見に行くようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 講習会等に参加し、高齢者虐待についても日々スタッフ間で気をつけている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 定期的に行っているミーティングや勉強会を通して、制度について学ぶ機会をつくっており、必要に応じて活用支援を行っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行い、理解・納得を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が意見を出しやすいような雰囲気作りを行い、気軽に意見や要望を頂いている。また速やかに検討を行い反映出来ている。 (外部評価) 利用者の体調変化等、変わったことがあれば、ご家族に電話で連絡や報告をされている。又、毎月、ご家族へ送付する書類の中には、管理者が利用者の様子等のコメントを書いて同封されている。ご家族から「職員の名前がわからない」と意見をいただいたことをきっかけに、各ユニットの入り口に、職員の写真と名前を書いたコルクボードを作られた。	管理者は、ご家族の遠慮する気持ちを察して、今後、運営推進会議を捉えて「家族中心の会議を作っていきたい」と考えておられる。利用者の暮らしをご家族とともに支えていけるように、今後もさらに、ご家族への具体的な報告等に努められて、意見や要望を引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃から職員同士のコミュニケーションをとり、活発に意見や提案を出し合い、より良い支援が出来るよう努めている。 (外部評価) 手の不自由な利用者の方が食事しやすいように、職員は、スプーンの持ち手の太さ等を試しながら加工しておられる。「畑仕事をしたい」と希望する利用者がおられ、職員は「プリンターで野菜を作ってはどうか」と提案しておられ、現在検討中であった。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 定期的な会議にて それぞれの意見を出し合い、向上につなげている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 介護経験の豊かな職員が経験の少ない職員を指導し、一人ひとりのスキルアップを図っている。また、段階に応じて様々な外部研修の情報を提供し、それぞれが受講している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 職員が同業者との交流会に参加し様々な意見を取り入れ、サービスの質の向上に役立てている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 不安無くホームに馴染んで頂けるように笑顔で穏やかな対応を心掛け、話しやすい雰囲気作り、声かけを多くするように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居までに何度か面談させて頂き、お話を聞かせて頂きながら説明を行い、納得・安心して頂けるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>様々なお話を聞かせて頂きながら相談内容を見極め対応している。また、多種機関のサービス提供や利用も行っている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者と寄り添い、会話の中から昔の話や知恵を聞かせて頂いている。共に歌を唄ったり、季節を感じながら散歩をしたり一緒に活動する中で信頼関係を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様の日々の様子やエピソードを話させて頂き、共に喜んだり笑ったりする中で 安心や信頼を得ながら共に本人様を支えていく関係を築いている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手紙のやりとりや面会、外出、電話連絡などの支援させて頂き、関係継続の支援に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、「帰りたい。お願いします」と言われる利用者がおられ、職員は、ご家族に伝えることを約束して指切りをしておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が間に入り、アクティビティ等を通じて、利用者同士のコミュニケーションが取れるように支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 電話連絡や訪問等にて関係の継続に努めている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話を通じて希望を聞き出したり、ご家族様とのお話しの中から情報を得ている。表出困難な方は、表情や反応を見ながら思いを把握できるよう日々努めている。 (外部評価) 「今までの生活を知り、介護に活かす」ために、入居前には、ご家族等から利用者の生活歴や職歴、日常生活動作等の情報を集め、「入居時面接調査表」を作っておられる。さらに、センター方式の暮らしの情報シートに情報を整理して、支援につなげる仕組みを作っておられる。日々の中で普段と違うことがあれば「気付きノート」に記入して職員で共有されている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サマリーやご家族様よりの生活情報歴を基に、生活リズムを出来る限り崩さないようにし、日々のご本人様との会話の中で新たな情報を引き出すよう努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の様子やバイタルチェック、会話の中で一人ひとりの心身状態を把握している。又、アクティビティーを通して有する力を把握できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 必要関係者とは その時々話し合い、日々の関わりの中でご本人様やご家族様の希望を聞き取り、定期的な会議にて職員全員で意見交換を行った上で介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、基本的に3ヶ月毎に見直すようになっている。ご家族には、見直し前に来訪された際や電話等でケアについての希望や要望を聞くようにされている。ユニット毎にカンファレンスを開き、計画作成担当者が中心となり、計画を作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 個別の記録があり、必要に応じて細かく記録を取っている。また、気づきノートに書かれた内容を職員全員が目を通し、実践や介護計画に活用している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 多種機関と連携し、必要に応じて かかりつけ医院への通院や送迎を行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 警察、消防等と連携し 安全を確保している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご本人様やご家族様の希望を重視し、かかりつけ医の受診支援を行っている。また、かかりつけの歯科医に必要な応じて訪問診療に来てもらっている。</p> <p>(外部評価) 事業所では「ご家族の負担を減らす」ため、入居時、協力医が主治医であれば往診も可能であることをご家族に情報提供されている。昨年より、訪問看護ステーションと連携する体制を整えられた。週1回、看護師の訪問があり、早期対応できるようになったことで、ご家族との信頼関係がより深まっているようだ。県外におられる身内の方の結婚式に出席できるか等についても、かかりつけ医と相談しながら支援をすすめられた。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 協力病院の定期的な往診や担当看護師のみの訪問もあり、健康管理や医療について気軽に相談させて頂いている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 協力病院の受け入れがあり、治療方法の詳しい説明や情報相談を受け早期退院に努めている。他病院であっても同様に情報交換を行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時に事業所の方針を説明しご本人様やご家族様と話し合い、方針を共有させて頂いている。また、ご本人様やご家族様の気持ちを重視し、状態変化時にはご家族様と相談しながら支援を行っている。</p> <p>(外部評価) 利用契約時には、ご家族や利用者へ「医療連携の指針」に基づいて「看取の意味」を含めて説明されている。医療連携を図っている医師から、看取り支援について「一緒にがんばってみないか」と言ってくれたことがきっかけで、この一年の間に2名の利用者の方の看取り支援に取り組まれた。その際、毎日、訪問看護ステーションから看護師が訪問してくれて、利用者の「今の状態」を職員に詳しく説明してくれて、職員はとても心強かったようだ。車椅子を利用する方は、現在、機械浴槽を使用されている。機械浴槽は、利用者が座ることが難しくなっても、寝台のまま湯船で温まるようになっている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急手当や初期対応について ミーティング等で身につけ、緊急対応のマニュアルが目につく所に設置してある。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) マニュアルを作成し 年に2回消防署と一緒に訓練を行い、避難路の確認や消火器の使い方の指導を受け全職員が身に着けている。	昨年未の避難訓練の後の訓練は、今後予定することとなり、定期的な訓練には至っていない現状である。いざという時、職員が慌てず対応できるよう、日頃からいろいろな災害の場面を想定した避難訓練を繰り返して行なわれてほしい。
			(外部評価) 昨年未に行なった避難訓練時には、通報訓練や避難経路の確認とともに、「消防署が到着まではどうするか」ということを職員で話し合い、利用者を「外へ運び出すこと」に重点を置き、訓練を行なわれた。事業所は、地域の方の避難場所になっており、米や水の備蓄の他に、地下水・太陽光が使用できる設備等を整えておられる。昨年未に、通報方法や避難経路の確認等をしておられるが、その後の避難訓練は今後の予定となっている。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊敬の念を持って言葉掛けや対応をしている。個人情報についても個人の記録に他者名書き込み必要な際はアルファベットにて表示している。	
			(外部評価) 調査訪問日の昼食時、食べこぼした物を気にされる利用者がおられ、隣のテーブルで利用者と一緒に食事していた職員が側に来て「大丈夫ですよ」と食べこぼしを拾ったり、声をかけておられる様子が見られた。利用者は、笑顔で安心して食べ始める様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 常に話し易い雰囲気を作り、些細な事でも傾聴し迅速に対応している。表出の困難な方にも 分かる様に説明し、出来る限り自己決定出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の健康状態や様子により柔軟に対応している。また、 一人ひとりのペースを大切に、利用者の希望にあわせた 支援に努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 定期的に理容師に来て頂き散髪を行っている。希望にて衣 類の買い物にも職員が同行している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る範囲で野菜の皮むき等お手伝いして頂いている。季 節の食材を使ってメニュー作りを行い、ゆったりと食事を摂っ て頂いている。	
			(外部評価) 職員個々に、利用者の希望を反映した献立を一週間分ず つ作成して持ち寄り、栄養士の資格を持つ職員を中心に話 し合い、決めるようになっていく。管理者の、利用者「新鮮 な旬の食材を味わってほしい」という思いから、野菜は毎 日配達してもらっている。又、魚は、商店から骨を抜く等加工 されたものを届けてもらっている。さらに、お米は農家から直 接購入されている。利用者は、日頃ごぼうの笹がきや、もや しの根とり等、野菜の下ごしらえをされる。調査訪問時は、ご 自分のお膳を下膳されたり、職員が洗った食器やお盆を拭 いておられた。施設長は、利用者は「ご飯を作ってもらっ ているから、文句を言えないと思っているのではないか」と感じ ておられ、今後は「もっと言えるように取り組みたい」と話して おられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養バランスを考え調理し必要に応じて刻みを加えるなど工 夫している。また、水分も十分に摂って頂き、少ない場合は、 おやつや食事以外でも飲み物を提供している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後 口腔ケアを行い、力に応じて介護支援出来ている。 義歯の方は夜間お預かりし、洗浄剤使用にて清潔を保って いる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを掴み自然な声掛け誘導にて支援できている。 (外部評価) 昼間はできるだけトイレで排泄できるよう支援されており、紙オムツを使用される方も昼間はトイレに座ってみる等して、排泄の自立に向けた支援に努めておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分を十分に摂取し乳製品を摂る事で自然な排便を促している。また、適度な運動や腹部マッサージも行っている。必要な方には医師と連携し、内服薬などで対応している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 混乱を防ぐ為 曜日と時間を決めさせて頂いているが、入浴剤を使用し一人ひとりのお好きな時間の間ゆったりと湯船に浸かって頂いている。また、必要に応じて入浴日以外も清拭を行っている。 (外部評価) 入浴日は、週2回、曜日を決めておられ、基本的には、同姓介助で支援されている。職員の都合等も踏まえ、利用者に声をかけて入浴を誘い、長湯がお好きな方には、ゆっくりと浴槽で温まることができるよう支援されている。事業所では、名水である「高井の水」で入浴できるよう、現在、水を引く準備をされている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者様それぞれの生活習慣や体調により 日中でも臥床し休んで頂いている。夜間も声掛けや常夜灯使用にて安眠して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の薬ファイルがあり職員全員が確認を行い理解出来ている。内服変更時には申し送りをを行い、症状の変化に十分に気をつけている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生活歴や会話から好きなことや出来ることを探し出し、一緒に楽しむ事で楽しみや張り合いを持って頂けている。テーブル拭きや洗濯物たたみ等、無理のない程度のお手伝いをする事で意欲的に生き生きと過ごされている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) お天気や体調を見ながら散歩や買い物に出かけている。歩行が難しい方には外気浴にて季節を感じて頂いている。	
			(外部評価) 季節毎には、菜の花や藤等を見に出かけておられる。週に1度は、庭に出たり、近くを散歩する機会を作っておられる。買い物は、月に一回程度、2~3人ずつ出かけられるよう支援しておられ、ショッピングセンター等に出かけておられ、ファストフードでおやつを食べて帰ることもある。	利用者が地域とつながり、暮らし続けられるよう、地域資源の開拓をすすめていかれてほしい。利用者一人ひとりの行ってみたい場所や懐かしいところ等も探りながら、出かけるきっかけにされてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を手元に持っておられる方も何人かおられ、トラブルの無いように見守り支援を行っている。出来る方には買い物の際にご自分で精算して頂くよう支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご家族様の都合にも合わせながら、希望される方には電話をして頂いたり 手紙を届けさせて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用スペースは広く取っており、常に通気性を良くし必要に応じてエアコンにて温度調節を行っている。また、行事や季節の写真を飾り 利用者様もそれを楽しんで見ておられる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所周辺の田んぼの風景は、季節の移り変わりを感じさせてくれる。居間のテーブルには、事業所の畑で採ってきたぶどうが枝ごと花瓶に飾られていた。調査訪問時、居間では、利用者それぞれに、パズルをしたり、テレビの前のソファに座って時代劇を見る等して過ごされていた。壁には、利用者の習字や塗り絵の作品や、外出時等の写真が飾られていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファやテーブルの配置を工夫し、利用者様がそれぞれにお好きな場所で過ごしておられる。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れた物を持ち込んで頂き、ご本人様が安心して落ち着いて過ごせるよう支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>仏壇や位牌を持ち込まれている方は、毎朝、ご自分でお供えのご飯を用意して、ご自分で供えておられる。犬のお好きな方の居室には、犬のぬいぐるみを飾ったり、犬のポスターを貼っておられた。又、外出や日常の利用者の写真を職員がレイアウトして、壁に貼っておられる。ご家族の来訪時に、ご本人と一緒に見ながらおしゃべりをされるようだ。テレビや机、椅子等を持ち込んでいる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>安全を配慮して手すりやポールの設置をし居室にはそれぞれ表札をつけている。混乱を防ぐ為にトイレの位置を文字で示し、自立して暮らせるよう支援している。</p>	